

改善報告書

令和元年7月30日

1. 大学名：東亜大学

2. 認証評価実施年度：平成28年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

○定員未充足が続き、債務も多いことから財政基盤が不安定なため、策定された「経営改善計画」に沿って入学者確保の取組みと計画的な債務返済を進め、安定した財政基盤を確立し、収支バランスを確保するよう改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目3-6について

平成28年度に下関市と抗争中であった特別土地保有税及び延滞金の債務が確定（約1,000,000千円）し、同年度に一部（約300,000千円）を納付したが、約700,000千円の流動負債が発生した。これに伴い、日本私立学校振興・共済事業団への借入金等返済が一部滞った。しかし、日本私立学校振興・共済事業団と平成29年度に弁済計画の条件変更契約を締結したことにより、引き続き計画的な返済計画が可能となった。

安定した財政基盤を構築するには、学生数の充足が必要となる。特に大学（学部）の入学者数（募集定員300名）の確保が必要である。平成28年・29年度の入学者数はそれぞれ178名（募集定員の59%）・192名（募集定員の64%）と経営改善計画の目標値を満たせていない結果となった。しかし直近2年では平成30年度は240名（募集定員の80%）、平成31年度は296名（募集定員の98%）の入学者を確保することができており、引き続き募集定員近くの入学者数を確保し、学生納付金と人件費とのアンバランスを是正することで、安定した財政基盤は確立することが可能である。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目3-6の資料

・【エビデンス_基準_3-6】 入学・在学生数・事業活動収支計算書関係（抜粋）の推移